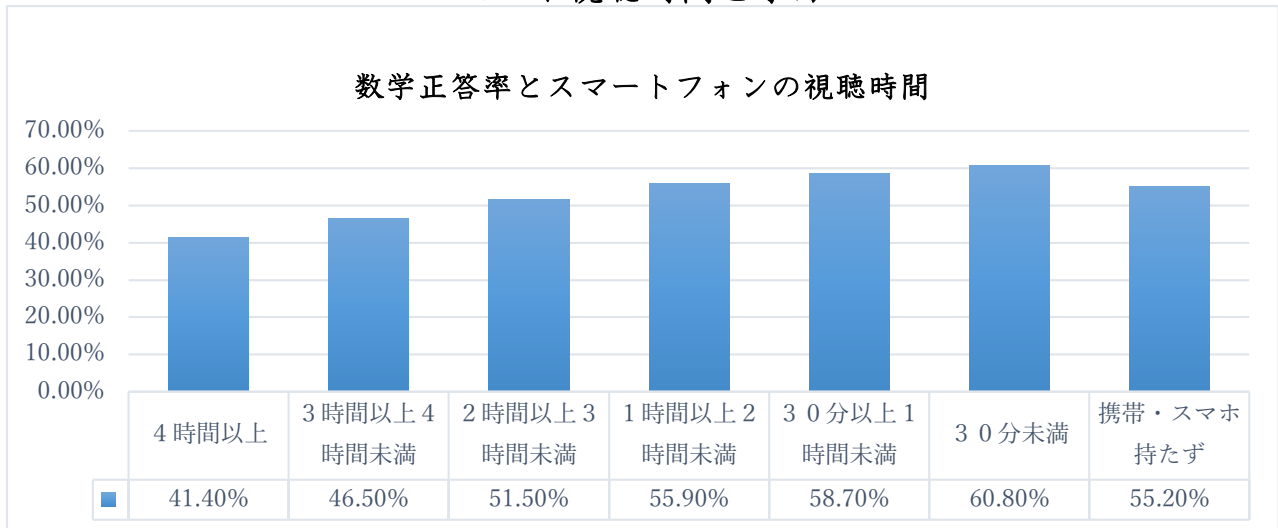




スマホ視聴時間と学力



- 文部科学省が28日に結果を公表した全国学力テストでは、1日あたりのスマートフォンの利用状況を尋ね、平均正答率との相関関係を初めて分析した。小中学生ともSNS（ネット交流サービス）や動画視聴時間が長いほど正答率が低く、中学校の数学は上位と下位で19.4ポイントの差があった。・・・（グラフの数値は正答率）
- 平均正答率と利用時間の相関関係を分析すると、小・中学校の計6教科でいずれも利用時間が長いほど正答率が低くなる傾向がみられた。・・・
- 平日にテレビゲーム（スマホなどでのゲームも含む）をする時間も、利用時間が長いほど正答率が低かった。・・・

（毎日新聞 2022.7.29）

全国学力・学習状況調査の結果が、7月28日に公表されました。（この調査は、毎年1回、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施されており、教科（国語、算数・数学、理科）に関する内容の問題が出題され、併せて生活習慣や学習環境に関する質問紙調査が行われています）上記は、数学の正答率とスマートフォンの視聴時間との関係について表したグラフと記事です。

グラフからは、スマートフォンを視聴する時間が長いほど成績が低くなっているのが読み取れます。利用時間が長くなるほど、学習時間が短くなり、このような結果になるのは、当然と言えるでしょう。

子どもたちが、長時間利用しないようにするにはどうしたら良いのでしょうか？

1つ目に、利用時間などについてのルール決め、それを自らが守る力を身につけること。そして、2つ目にスマートフォン以外にも興味が持てる物（例えば、趣味やスポーツや文化活動等）を見つけること。そのことにより、スマートフォンを見る時間が減り、スマートフォンから、離れられるのではと思います。

今一度、ご家庭でこの記事をもとに子どもと一緒にスマートフォンの利用について考えてみましょう。